

## 平成30年度 1年生(理数クラス) 後期中間試験 試験範囲

科目名	試験範囲(教科書範囲)	担当者	具体的な学習方法	試験対策授業の宿題・提出物
国語総合	<p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P.208～P.215「真の自立とは」</li> <li>国語総合(漢字)で試験対策期間中に配布したプリント</li> </ul> <p>【古典】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 P.318～321「訓読の基本」</li> <li>教科書 P.342「論語～学而～」</li> <li>朝学のプリント</li> </ul>	高橋 岩崎 光本	<p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、ノート(プリント)を繰り返し見直し、話の流れを確認する</li> <li>筆者の主張や視点について確認する</li> <li>Kテキストを繰り返し学習する</li> <li>本文中の漢字の読み・書き・語句の意味を確認し、覚えておく</li> </ul> <p>【古典】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Kテキストや、授業内で配布したプリント、朝学のプリントを活用し、訓読の基本を理解する</li> <li>「論語～学而～」の内容を理解し、現代語訳できるようにする</li> </ul>	<p>【現代文】</p> <p>試験対策期間にノート点検を行う</p> <p>【古典】</p> <p>授業ノートを対策期間中に点検する</p> <p>*試験当日にKテキストを提出する</p>
日本史A	教科書P.56、57、60～63、72～75、80～83 『立憲国家の成立』 『日清戦争と近代社会の確立』 『日露戦争と帝国日本の形成』 ・プリント No.7～10 ・Kテキスト P.16～33	志渡岡 平澤	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ノートにNo.7～10までを貼り、板書内容を整理する</li> <li>◎Kテキストを繰り返し学習する</li> <li>◎用語の読み書きをしっかりと確認する</li> </ul>	試験当日 ノート、Kテキストを提出する ※Kテキストは丸付けをした状態で提出する
物理基礎	教科書 p.34～81 「力とは」「運動の法則」「仕事」 「運動エネルギー」「位置エネルギー」  ニューグローバルp.34～67	浦上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ノートを見直す</li> <li>・ロイロノートで配布された資料をよく見直す</li> <li>・ニューグローバルは、自分が何を理解できていないのか分析する</li> </ul>	試験対策期間中にノートの点検を行う
生物基礎	教科書p. 80～109 「体内環境と体液の循環」「恒常性と血液」 「肝臓」「腎臓」「自律神経系による調節」「ホルモンによる調節」 ニューステップアップ(教科書のページに準じます)	豊島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液成分は成分表を暗記する</li> <li>・血液凝固はその過程を説明できるようにする</li> <li>・「肝臓・腎臓の働きとしくみ」をまとめておく</li> <li>・腎臓は濃縮率の問題が必須なので練習しておく</li> <li>・ホルモンの調節については「フィードバック」「血糖値・体温の調節」について説明できるようにする</li> <li>・酸素・二酸化炭素の肺における交換について、説明できるようにする</li> </ul>	ノート検査は対策期間中に行う
化学基礎	教科書P.88～109「物質と化学反応式」 ニューステップアップP.58～77 資料集P.52～63	高橋佳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で取り組んだ内容を繰り返し確認する</li> <li>・ニューステップアップなどを活用し、計算問題に慣れておく</li> <li>・特に物質量の計算、化学反応式の組み立て・数的関係に関する問題を解けるように整理する</li> </ul>	試験対策期間中にノートの点検を行う
EC I	教科書ProVision P.17～P.23 Lesson2 "Oh Bento!"	有田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Lesson2の文章が文法構造を理解した『精読』ができるようにする</li> <li>・特に『主語』『動詞』『目的語』の特定と役割を理解し、分析的に読めるようにする</li> <li>・教科書内に出てきた単語は全て書けるようにする</li> <li>・Lesson2の文中に出てきた文法『受動態』『完了形』『関係代名詞』の理解を深めておく</li> </ul>	受動態、完了形、関係代名詞のワークの提出
数学 I	教科書P58～71, 74～76, 78～82, 87～98 問題集P14 25 ～ P19 36	門司 中田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で行なった例題・問題を繰り返し解きなおす</li> <li>・問題集(リンク)の試験範囲の問題を解きなおす</li> </ul>	特になし
数学A	問題集P.34～35, 42～45(問題番号65, 66, 67, 68, 81, 82, 83, 84, 85, 87, 88)	長岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し同じ問題を解きなおす</li> <li>・授業で配布したプリントを見直す</li> </ul>	特になし